

| | | | | | |
|------|---------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 日本語総合A（1年生のみ） | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 上仲 淳 | 開講期・曜日・時限 | 前期 月曜日 3時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1年生 |

主題と概要

学部留学生として大学生活に必要な日本語能力を身につけるため、この授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学ぶ。また、文法知識を学ぶだけでなく、実際の日本語でのコミュニケーションや作文でどのように使われるかを考える。

到達目標

大学における学習活動に役立つように、文法構文の意味理解だけでなく、運用もできるようになる。また、適切な日本語で表現したり、課題ができるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生に課したテストや課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準

授業への参加度（30%）、授業内発表（10%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とする。
全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
遅刻3回で1回欠席とする。
15分以上の遅刻は欠席となる。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

その他

日本語総まとめ文法シリーズ等のプリント資料を配布、もしくはウェブ資料を利用する。

授業計画

- 第1回 授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）
- 第2回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第3回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第4回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第5回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第6回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第7回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第8回 中間試験
- 第9回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第10回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第11回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第12回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第13回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第14回 主要な文型の続き、および復習と練習
- 第15回 期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|---|
| <input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習） | <input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート | <input type="checkbox"/> エ：グループワーク |
| <input type="radio"/> オ：プレゼンテーション | <input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク |
| <input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各資料に関して、語句の読みや意味調べなどの予習を、1時間行ってください。また、復習に特に力を入れてください。音読すると記憶に定着しやすいです。そしてなにより普段から日本語の文章に親しむこと（毎回3時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」等になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

| |
|--|
| |
| |
| |
| |